心臓近傍（左下肺野）の腫瘍であり，^{201}Tl で陰性であった食道癌3例はいずれも中，下部食道の腫瘍であった．他疾患や ^{201}Tl の撮像時間などについても検討したので報告した．

10. $^{99m}TcO_4^-$ による甲状腺イメージングでの食道影について

山下　正人　　塩川　裕幸
前田　辰夫
（九州がんセンター）

$^{99m}TcO_4^-$ による甲状腺イメージングに際して，食道内の $^{99m}TcO_4^-$ が描出されることがある．読影に障害となりうる症例に対して，コップ 1～2 杯の水 (200～300 m*l*) を飲ませたところ，食道内の $^{99m}TcO_4^-$ によると考えられるものが消失した例を経験した．

最近の症例約50例のうち食道影と考えられる集積像があり，かつ甲状腺との重なりのある11例に水を飲ませその前後の像を比較したところ，食道影の除去に水を飲ませることが簡便で有効な方法であることがわかった．

なお，過去の症例も合わせて食道影について検討したところ，全体の約半数に出現，そのうち半数が甲状腺との重なりがあるといえることがわかった．カウントプリセットで撮像する場合，甲状腺への $^{99m}TcO_4^-$ の取り込みが少ないと増強される傾向にある．甲状腺に欠損像のある場合，食道影の重なりにも注意する必要があろう．

11. ^{131}I-Adosterol による arrhenoblastoma の陽性描画の経験について

中條　政敬　　坂田　博道
篠原　慎治
（鹿大・放）
儀保　善英
（同・産婦）

^{131}I-Adosterol は副腎スキャン剤として現時点では最も優れたものであり，その副腎疾患に対する診断的有用性は広く認められている．しかしながら，副腎以外の臓器の疾患で本剤が集積しそれが診断的に有用であったという報告は現在までないようである．われわれは卵巣の男性ホルモン産生腫瘍である arrhenoblastoma で本剤により陽性描画し得た1例を経験したので報告した．症例は21歳の女性で男性化徴候と小児頭大の下腹部腫瘤があり，男性化徴候が副腎性か卵巣性かの鑑別のため，副腎シンチグラフィを施行した．両副腎共正常像を呈したので，下腹部腫瘍のイメージングを行ったところ，腫瘍内に2カ所高集積像を認めた．摘出左卵巣腫瘍は中間型の arrhenoblastoma で，そのシンチグラムでも ^{131}I-Adosterol の集積を確認した．本剤の本腫瘍への集積のメカニズムに考察を加え，他のステロイドホルモン産生卵巣腫瘍の本剤による陽性描画の可能性にも言及した．

12. 閉塞性黄疸の肝シンチグラムについて

広田　嘉久　　市原　美宏
佛坂　博正　　片山　健志
（熊大・放）

95例の閉塞性パターンを示した血清ビリルビン値 5 mg/d*l* 以上の症例の肝シンチグラムについて検討を加えたので報告する．

症例の内訳は急性肝炎8例，慢性肝炎7例，肝硬変14例，肝癌8例，胆のう胆管癌18例，膵頭部および乳頭部癌11例，胆石症3例，その他26例（原因不明を含む）である．

肝腫大の程度は肝癌，胆のう胆管癌，膵頭部および乳頭部癌，その他例，急慢性肝炎，肝硬変の順序であったが，ビリルビン値と腫大の程度との間に相関はみられなかった．肝門部に異常所見が見られたのは肝癌87.5%，胆のう胆管癌 72.2%，膵頭部および乳頭部癌 36.4% であった．PTC 所見との比較では総胆管径 20 mm 以上で左右肝胆管径 10 mm 以上のものは 100% シンチグラム上肝門部欠損像がみられた．

Presented by Medical*Online